

## 町民活動団体紹介 23

# より良い地域づくりのため活動をしている団体を紹介します

### 団体名 のぎパソコンクラブ

◆活動内容 ボランティア活動、自治会活動、趣味等にパソコンを利用する機会が多いためシニアを対象に1年間(毎月2回)学習し技能を身につけます。

◆活動日 毎月第1・3水曜日  
午前9時30分～12時

◆活動場所 町公民館第4研修室

◆会員数 11名

◆ひとこと 「楽しく学ぼう、身につけよう」をモットーに毎回楽しく学んでいます。パソコン学習は認知症防止にも大変役立っています。7月より新期生を募集致しますので是非参加してみてください。



町民活動とは、営利を目的とせず、社会的な課題の解決に向けて町民が主体となって行う社会貢献活動のことです。

・当団体については……問浜田 敏路 ☎0280(56)0382

みなさんも楽しく、元気に町民活動、ボランティア活動に取り組んでみませんか。  
ご興味のある方は、ボランティア支援センターきらり館まで、お気軽にお問い合わせください。

・町民活動等については…問ボランティア支援センターきらり館 ☎0280(23)1231

## 広報連絡委員レポート№418

### 防災で思うこと



広報連絡委員  
富田 英俊

日本では、毎年のように洪水、地震、強風、豪雪などの自然災害が発生している。

これらの災害は、社会活動に欠かせないインフラに甚大な被害を与え、時には人命を奪つこともある。季節を変える梅雨や秋雨も、時折前線が暴れて雷雨や大雨をもたらす。

近年、異常気象が加わり、気象の記録を塗り替える豪雨となり、洪水が発生することがある。昨年は、かつてない猛暑を体験した。

今年三月で、東日本大震災が発生して十年になる。あれほど凄まじい地震を体験したことがなかった。思わず職場の机の下に身を隠したほどで、あの時の恐ろしい記憶は鮮明に覚えている。数年前、区長会の研修で宮城県名取市の閑上地区を訪れたことがある。言葉では表現できない光景を目の当たりにして、改めて津波の脅威を見せつけられた。

身近な自然災害の脅威は、平成二七年九月の関東・東北豪雨による洪水である。町の中心部で多く

の家屋が浸水した。線状降水帯による豪雨で、避難勧告が発令され、野木二中に避難所が開設された。同年、松原区では自主防災組織が立ち上がり、活動する矢先の避難勧告発令。役員として初めて避難所運営を経験し、深夜まで、町職員と手探りながら、避難所の開設や避難してくる人の受け入れを手伝った。

二六年前の阪神・淡路大震災で、家屋の下敷きになった方のうち、七割弱が自助で、三割が近隣住民、残りの方が警察、消防、自衛隊に救出されたとするデータがある。自分の力、近隣住民の力で人命が救われ、自助・共助の大切さが認識された。自分の身は自分で守るという自助意識と、近隣住民との助け合いの共助精神が上手に絡み合っこそ、被害を最小限に食い止めることができる。災害発生時、どう行動するか、個人の咄嗟の判断とご近所さんとの意思の疎通が必要になってくる。

今、新型コロナウイルス感染症という災害と戦っている。先が見えない不安のなか、感染しない、感染させないための個人の生活様式や日常の行動が試されている。いつ来るかわからない災害への心構えとして、「有備無憂」を大切にしたい。